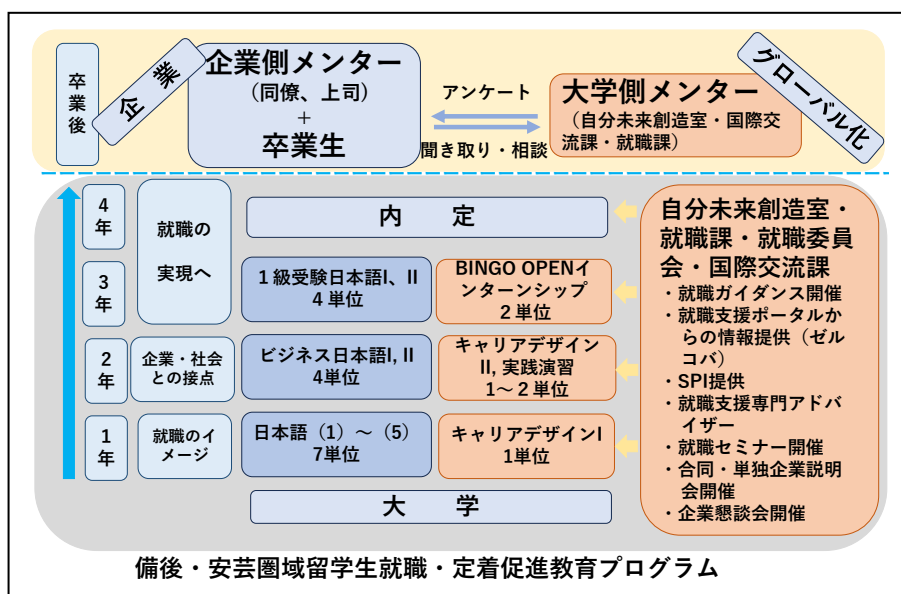


【背景】

福山大学では、外国人留学生として2種類の入学経路がある。①主に中国の学術協定大学からのダブルデGREEプログラム(DDP)による入学生。DDP学生は、協定校で2~2.5年学修して、さらに本学で2.5~3年在籍して学位を取得したのち、日本で進学あるいは就職する。②日本や海外の日本語学校等で1年程度学習して、本学の外国人選抜によって入学する学生。この学生は原則として本学で4年の学修期間を修了して、学位を得る。上記①、②のいずれの学生も入学時には日本語能力試験N2/N2相当を取得している。入学する留学生の約2/3は日本での就職を希望している。しかし、実際の日本国内就職率は1/3程度と伸び悩む。優秀な留学生を日本に定着させるべく、就職に必要なN1/N1相当を取得するための日本語教育及びビジネス日本語教育、更に日本の企業風土への理解と就職活動の特徴や職種への理解等のサポート体制が必要である。

【プログラムの概要】

外国人留学生が日本企業に就職し、長期間就業・定着するためには、①一定水準以上の日本語能力と継続的な日本語学習、②企業文化・風土への理解と綿密な事前の企業研究、③インターンシップによる企業イメージの明確化とキャリアパスの具体化が重要である。背景で述べたように、日本での就職希望者に対して実



就職率が低い原因は、就職に対する活動開始の時期の遅さにあると考えている。多くの留学生が開始時期を早めていたら、もっとスムーズに就職できたはずだったとの意見を聞くことが多い。そこで、このプログラムでは初年次の日本語教育と並行して広島県中小企業家同友会と協力してキャリア教育を実施して、自己分析や企業研究を通して、キャリアパスイメージの明確化を図る。そして、これにインターンシップなどを加えて、就職活動の直前まで継続するた

めに、3年間の期間を要する。

本学における就職支援の強みは次の通りである。

- ① 福山大学主催の合同企業説明会の開催、② 経験豊かな1級キャリアコンサルティング技能士(国家資格)取得の就職支援専門アドバイザー、③ 学生一人一人を担当教員&就職支援スタッフで徹底サポート、④ 就職支援システム(ゼルコバ)による支援、⑤ 就活応援スクールバスの運行による便宜供与、⑥ 企業・OB・OGとの強いパイプを活用、⑦ BINGO OPEN インターンシップなどの充実したインターンシップ制度。

留学生の就職支援にあたり、文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改革・充実体制整備事業」によって整備された自分未来創造室では、留学生が抱える悩みや不安を解消するサポートする。また、留学生が産業界のニーズに対応できる人材となるよう、産業界との橋渡しを図る。留学生の就職後も企業内での人間関係を円滑にし、長期間の就業(定着化)を支援するため、大学側メンター(自分未来創造室、国際交流課、就職課)が企業に出向いて採用された留学生だけではなく、その上司(企業側メンター)・同僚からの聞き取りを実施するなど、アフターケアをして企業全体のグローバル化を支援する。